

年 月 日

東京都知事 小池 百合子 様
東京都後期高齢者医療広域連合長 吉住 健一 様

全日本年金者組合東京都本部_____支部

支部長_____

後期高齢者医療保険料を引き上げないでください

高齢者の生活は、物価高騰・年金の実質減・税や医療・介護の負担増によって深刻な危機に直面しています。

年金は名目上わずかに増えても物価上昇に追いつかず、実質的には減っています。東京都区部では2025年12月中旬時点速報値で生鮮食品を除く食料品が前年同月比6.2%、米は34.7%の上昇を示し、1日2食に切り詰めている」「暖房を我慢している」などの声があがっています。

名目上の年金増で住民税非課税ラインを超え、住民税が課税に転じ、介護保険料が上がり、各種軽減が受けられなくなる“逆転現象”も広がっています。さらに、年収がわずかに基準を超えたことで医療費窓口負担が1割から2割に増えた高齢者も多数います。

こうした中で、広域連合が示した2026・2027年度の保険料試算（均等割52,400円、所得割率9.85%、平均保険料123,827円 平均11.2%引上げ・年金収入153万円以下の単身者でも10.6%（1,500円）の引き上げ）は、高齢者の生活に追い打ちをかけるものであり、容認できません。

社会保障は憲法に基づく権利です。私たちは、東京都と広域連合に、高齢者の生活を守る立場に立つことを強く求め、以下の点を要求します。

- 1 2026・2027年度の後期高齢者医療保険料を引き上げないでください。
- 2 物価高騰で苦しむ低所得高齢者の保険料を引き下げてください。
- 3 東京都は、保険料引き上げ回避と低所得者の負担軽減のための財政措置を直ちに講じてください。

意見・要望